

アトロン  
IFC国際親善センター

平成25年 3月11日

御中

京都市立西京高等学校附属中学校  
校長 村上英明

貴社訪問のお礼

拝啓 早春の候、貴社におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、2月20日（水）の貴社訪問につきましては、突然の申し出にもかかわらず、快くお引き受けいただいた上、ご多忙中にもかかわらず、本校生徒のためにお時間を割いて指導にあたっていただき、誠にありがとうございました。

貴社のご協力のおかげで、生徒たちは「自分と社会との関わり」や「働くことの意味」「未来を考える視点」など、普段教室だけでは学べない多くのことを学習することができたと感じております。

今回の訪問が、生徒たちにとって「自分の将来をどのように描いていけばよいのかを考えること」「どのような力をつけていかなければならないか」といった学びへの動機付けとなり、これから進んでいく高校生活を充実したものにすることができるきっかけとなったと確信しております。

つたないものではありませんが、生徒が学んだことをレポートにまとめました。ご覧いただければ幸いに存じます。関係者の皆様方にもくれぐれもよろしくお伝えくださいますようお願い申し上げます。

なお、今回の本校の取り組みにつきまして、ご意見等がございましたら下記までご連絡頂きますようお願い致します。本来お伺いしてお礼を申し上げますところ、書中にてのお礼とさせていただきますことをお許しください。

敬具

京都市立西京高等学校附属中学校

# 東京 FW 企業先訪問報告レポート 2013. 2. 20

## ①企業先

一般法人 IFC 国際親善センター

## ②得た情報・知識・知恵

国籍、年齢、立場の枠を超えて人と人の交流、異文化の紹介を通じて相互国際理解を深めることを目的に 1987 年 10 月に設立され、26 年の歴史がある団体である。学生から高齢者まで、外国人との親善交流に積極的で理解があり、宗教・イデオロギーに偏向せず協調性豊かであれば誰にでも入会の資格がある。もともとは、大学生がボランティアで語学教室を行う場であったが、次第に課外授業が広がり大使館などを借りて外国人とパーティーをする場を設けるなど、学んだ語学を実践するというものになっていった。現在の主な活動内容としては、親善パーティー・外国人宅ホームパーティー・講演会・講習会・日本文化紹介・語学教室・その他さまざまな交流などがある。



<イスラム共和国親善パーティーの様子>

～担当して頂いた方のお話～

今の社会は直接顔と顔を合わせなくてもインターネットや携帯電話などでコミュニケーションが取れてしまう。しかし、じかに会ってコミュニケーションを取ることでわかることは多くある。この活動に参加している人の目的は様々であるが、そのなかで自然な形で語学やコミュニケーション能力を身に付けて欲しい。

### ③ 考察

今回、訪問させていただいたこの団体が行っていらっしゃる活動は、本来の私たちのあるべき姿なのかな、と感じた。政治的ないがみ合いや歴史的な複雑な背景などを全て抜きにして、1人の人間としてお互いをとらえたうえで、自国の良さをアピールしたり他国の文化に楽しんで触れられたりするの、素晴らしいことだと思う。「国」という周囲が作った枠組みにとらわれすぎず、異なった生活環境や習慣のなかで暮らす人同士が関わりあうことは、これからのグローバル化している世の中では特に大切になってくると思った。今は、直接会わなくても、インターネットや携帯電話を通してコミュニケーションをとることができるような時代であるけれど、人と人が面と向かって接することの楽しさや大切さを改めて感じられる訪問となった。